



(参考仮訳)

プレスリリース No. 10/166
即時解禁
2010年4月24日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

第 21 回国際通貨基金総務会・国際通貨金融委員会コミュニケ

2010年4月24日

議長：エジプト財務大臣ユーセフ・ブトロス・ガーリ博士

1. *世界経済*。経済の回復基調が強まっている兆候は歓迎すべきだが、世界各国が協調して取り組むべき課題が依然として山積している。回復の速度は一律ではなく、出口戦略の影響が国や地域を越えて波及する可能性を念頭におきつつ、我々は景気刺激策からの各国独自の出口戦略を引き続き段階的に導入する。我々は、安定した均衡ある世界経済、雇用創出の回復、物価の安定、及びあらゆる保護主義の回避という、我々の目標と総体的に整合的な政策の実施に引き続き尽力する。我々は、国家財政の持続性の維持及び公的債務危機の回避に徹底して取り組む。我々は IMF に対し、今後も世界経済並びに金融の状況のモニタリングを強化すると共に、政策助言を実施することを求める。我々は、強固且つ均衡がある成長の持続への指針となる、G20 の相互評価プロセスに対する IMF の支援を歓迎する。

2. *金融部門*。この度の危機の根底には金融部門の問題があった。金融の規制、監督及び耐性の強化は引き続き完了が待たれる重要な課題である。我々は世界経済の回復を支える安定した国際金融システムの構築に向け、一貫し且つ協調的な取り組みの構築に向け一層の努力を払うことに合意する。我々はこれら事項の進捗状況及び優先事項に関する報告を求める。また、金融システム上重要な金融システムを有する国々に対する、金融セクター評価プログラム (FSAP) の評価の完了を求める。我々はシステミック・リスクや波及の経路を明確にする取り組みの継続を支援すると共に、データギャップの問題への対応に関する報告を期待する。さらに、我々は幅広い協議に基づき、各国独自の状況を斟酌しながら、金融データの自発的公表基準の可能性を模索する上で支援を行う。政府が前例の無い規模で支援を行ったことによる負担をカバーするにあたり、過度のリスクテイクを減じ、競争条件の公平を促進し、各国の状況を斟酌する一方で、金融部門による公平且つ大規模な貢献の様々な可能性に関する IMF の分析についての協議を求める。

3. *低所得国*。我々は、改善されたマクロ経済の枠組み、有効な政策対応、並びに国際社会からの支援の結果、多くの低所得国で見られる回復を歓迎する。我々は、新

たな融資や譲許的融資の補助的財源にコミットした各国に対し謝意を表すると共に、他のドナー各国からの貢献を期待する。我々は、低所得国向け譲許的融資の財源の動員への枠組みが、先般導入されたことを歓迎する。我々は壊滅的な災害の犠牲となった国に対し、特別に債務救済を行うとする提案の検討をIMFに求め、この一環で、ハイチの債務の救済に向けた国際的な取り組みにIMFが加わることを求める。

4. *IMF改革*。我々は、IMFのクォータ（出資割当額）及びガバナンスの改革、並びにサーベイランスそして融資のマンドートの近代化を通じた、IMFの信頼性、正当性、そして実効性の向上に向けた作業の加速化に尽力する。

- *クォータ及びその他のガバナンス改革*。我々は全加盟国に対し、2008年のクォータ並びにボイス（投票権）の改革への早急な合意を求める。我々は他のガバナンス改革も同時に実施しながら、イスタンブールで合意したパラメーターに沿いクォータの見直しを2011年の1月までに完了することを宣言する。我々は理事会のクォータ並びにガバナンスに関する事項の進捗についての報告を歓迎すると共に、これらに引き続き深く関与する。我々は、年次総会においてこれらの事項を取り上げることになるが、そのためには、マネジメントの選定、各国財務大臣の関与、理事会の構成と規模、議決権とマジョリティーの問題、職員の多様性の向上などを含めた、クォータとその他のガバナンス改革全般において多大な作業が必要であり、その作業の加速化を要請する。我々は、新規借入取極（NAB）に関する合意を歓迎する。我々は、新規歳入モデルの完全なる実施を求めると共に、IMFによる金の売却の開始を歓迎する。また全加盟国に対し、IMFの投資権限の拡大に関する2008年の改革への早急な合意を求める。

- *責務及び権限*。この度の危機の影響に対処する上での加盟国の様々なニーズに対応するために、IMFが集中的に行った取り組みを高く評価する。同危機によりシステミック・リスク及び相関関係の分析の強化、モラルハザードの回避、そして相応なクォータ及び他の財源並びに十分なセーフガードを伴うニーズに適合した各種制度の適切な活用による危機への対応の重要性が明らかとなった。これに関し、我々はサーベイランス、融資、国際通貨並びに金融システムの安定に対するIMFの責務・権限並びに責任についての重要な作業を歓迎する。我々は、サーベイランス並びに危機予防の焦点の絞込みと実効性の向上、及び健全なインセンティブに基づく国際金融のセーフティネットの強化に向けた最善の施策など、これらの分野におけるIMFの実効性の向上に関する議論を十全且つオープンに行うことを強く求める。我々は、IMFに対し、国際通貨制度の適切な機能及び長期的安定の促進に向けた政策オプションの検討を要請する。一方で、我々はIMFに対し、マクロ金融の問題、資本フロー、及びシステミック・リスクと波及などに一層着目することにより、サーベイランスを強化することを要請する。我々は加盟国に対し、IMF協定第4条に明記されている加盟国の義務をまっとうすることを求める。我々は次回の会合において上記事項について具体的な進展についてレビューすることを期待する。

5. 次回 *IMFC* 会合。次回会合は、2010年10月9日にワシントン D.C. で開催予定。

参加者一覧

議長

ユーセフ・ブトロス・ガリー

専務理事

ドミニク・ストロスカーク

委員会

オルシェグン・O・アガンガ、財務大臣、ナイジェリア連邦共和国
 イブラヒム・A・アル＝アッサフ、財務大臣、サウジアラビア王国
 スルターン・N・アル＝スワイディー、総裁、アラブ首長国連邦中央銀行
 (オバイド・フマイド・アル・タイヤー、財務大臣、
 アラブ首長国連邦－代理)

エルネスト・コルデロ・アロヨ、大蔵公債大臣、メキシコ合衆国
 アリスター・ダーリン、財務大臣、英国
 ホセ・デ・グレゴリオ、総裁、チリ中央銀行
 マリア・ファン・デル・フーフエン、経済大臣代理、オランダ王国
 (ヤン・ケイズ・デ・ヤーヘル、財務大臣、オランダ王国－代理)

ジェームズ・マイケル・フレアティ、財務大臣、カナダ
 ティモシー・F・ガイトナー、財務長官、アメリカ合衆国
 菅 直人、財務大臣、日本

エルッキュー・リーカネン、総裁、フィンランド銀行
 (ユルキ・カタイン、財務大臣、フィンランド－代理)

アレクセイ・クドリン、副首相兼財務大臣、ロシア
 クリスティーン・ラガード、経済産業雇用大臣、フランス共和国

モハメッド・ラクサシ、総裁、アルジェリア中央銀行
 グイド・マンテガ、財務大臣、ブラジル連邦共和国

ハンス＝ルドルフ・メルツ、財務大臣、スイス連邦
 アフマド・フスニ・モハマド・ハナズラ、第2財務大臣、マレーシア
 ドゥブリ・スバラオ、総裁、インド準備銀行
 (プラナーブ・ムカジー、財務大臣、インド－代理)

ヌグロア・ンガンビア、経済、貿易、産業、観光大臣、ガボン共和国
 ガイ・カデン、総裁、ベルギー国立銀行
 (ディディエ・レンデルス、副首相兼財務大臣、ベルギー－代理)

ヨルク・アスムッセン、外務次官、財務省、ドイツ連邦共和国
 (ヴォルフガング・ショイブレ、財務大臣、ドイツ連邦－代理)

ジュリオ・トレモンティ、経済財政大臣、イタリア共和国
 ユン・ジュンヒョン、企画財政部長官、大韓民国

周小川、総裁、中国人民銀行

オブザーバー

アハマド・ビン・モハンマド・アール・ハリーフア、議長、合同開発委員会 (DC)

モハマッド・アリポー＝ジャディ、原油研究部、石油輸出国機構 (OPEC)

ハイメ・カルアナ、総支配人、国際決済銀行 (BIS)

マリオ・ドラギ、議長、金融安定理事会 (FSB)

フィリップ・エッガー、副官房、事務局長官房、国際労働機関 (ILO)

アンヘル・グリア、事務総長、経済協力開発機構 (OECD)

パスカル・ラミー、事務局長、世界貿易機関 (WTO)

ユエフン・リー、課長、債務開発金融部 グローバリゼーション・開発戦略課、
国連貿易開発会議 (UNCTAD)

オッリ・レーン、経済・通貨問題担当欧州委員、欧州委員会 (EC)

ジョモ・クワーミ・サンダラム、国連経済社会局・経済開発担当事務次長補、
国際連合 (UN)

ジャン・クロード・トリシェ、総裁、欧州中央銀行 (ECB)

ロバート・B・ゼーリック、総裁、世界銀行グループ